

警察事務職員 採用案内

(※専門職員も含む。)



警察事務職員と警察官は愛媛県の
安全・安心を築くために

共に働くパートナー です。

「警察官」の仕事は何となく想像できても、「警察事務」って
どんな仕事をしているの?と疑問に思われる方も多いと思いま
す。この案内では、警察事務職員の各部門での仕事内容
に触れた上で、警察事務職員対象の研修制度やQ&Aを紹介
します。

※ 内容の一部で「一般職員(警察事務職員と専門職員を含んだ名
称)」と表記している箇所があります。

多くの警察事務職員が
総・警務部門で勤務します。

総務室・警務部

(広報県民課、警務課、会計課等)

- 広報活動 ● 警察組織の企画運営
- システム開発(情報)や情報セキュリティ対策
- 職員の給与事務 ● 車両や警察装備品の調達・維持管理
- 警察予算の編成や執行 ● 物品の調達や備品管理
- 庁舎の新築(建築)や施設管理 ● 遺失物・拾得物の取扱い
- 職員の福利厚生事務や健康管理(保健師)



生活安全部 (地域課、生活環境課等)

- 警察船の運航(海技士)
- 風俗営業、警備業及び古物取扱いに関する許認可業務
- 銃砲刀剣類の所持に係る許可業務
- 少年の健全育成に向けた活動(少年補導職員)

刑事部 (刑事企画課、鑑識課等)

- 指紋や足痕跡の鑑定業務
- 鑑識写真の現像や解析、データ管理
- 犯罪手口の統計事務
- 各種鑑定業務(科学捜査研究員)



交通部(交通規制課、運転免許課等)

- 自動車保管場所や道路使用許可などの業務
- 交通管制センターの整備・運用
- 道路標識、道路標示、信号機などの新設・補修
- 運転免許の試験や更新、行政処分に関する業務



警備部(警備課等)

- 警察ヘリの整備(航空整備士)
- 警衛警護基本計画の策定に関する業務



※ 少年補導職員等の専門職
は、警察事務職員とは採用区分
が異なり、募集をしていない年も
あるので注意してください。





初めての業務でも安心！！



若手一般職員育成のための豊富な研修制度

警察事務職員は、職員の給料や福利厚生管理といった一般企業で取扱う庶務的な業務もあれば、遺失・拾得対応といった警察独自の業務もあるため、より専門的な知識等が求められます。

そこで、採用後はまず警察学校に入校(※)し、基本的な業務についての教養を受けることになります。

学校卒業後も、各警察署で勤務をしながら定期的に研修が行われるので、その都度自分の実力の程度を知ることができる上に、新しい知識やスキルを学ぶことができます！

※警察官と異なり、警察事務職員の入校は4週間と短期間であり、柔剣道のような訓練はありません。

	期間	4月	5～9月	10月～12月		1月～3月		
		(4週間)	(20週間) (2日以内)	(12週間) (2週間)	(4日以内)	(12週間)		
採用⇒ 教養内容		①一般職員初任科	②前期実務研修	④後期実務研修		⑦実務強化研修		
			③前期集合研修	⑤警察署各課 専務研修	⑥後期集合研修			
特色		①学校での事前教養	②署で基礎習得	③本部で補充教養	④署で 実務研修	⑤署各課で 集合研修	⑥学校で 修得研修	⑦署で実務研修

実際に警察事務職員として採用され、1年間勤務をしながら研修に参加した若手職員からは、「研修制度が充実しているので、1年間で多くの知識を得ることができた。」、「幅広い警察業務を学ぶことができ仕事に対する理解が深まった。」、「久々に同期と再会できてうれしかった。」等の声がありました。

警察事務職員 Q & A

●警察事務職員になるにはどうすればいいですか。

警察事務の採用試験に合格する必要があります。

警察事務には上級と初級の試験区分があり、これらの区分は警察官採用試験(大学卒・高校卒程度)と異なり、受験資格が受験者の年齢によって異なるので注意が必要です。

例年、警察事務(上級)は、6月頃、警察事務(初級)は9月頃に1次試験を実施しています。

●試験勉強はどんなことをすればいいですか。

試験勉強については、それぞれの勉強方法があると思いますが、大学等での公務員講座を受講する方や公務員専門学校に通う方もいれば、ひたすら独学で過去の問題集を解くなど、自分に合ったやり方を見つけてください。

また、警察事務(上級)では、教養試験に加え、専門試験(政治学、行政学、憲法、行政法、民法などの専門分野からの出題)があるので注意してください。

●警察事務職員は、女性と男性どちらが多いですか。

事務職員は、女性の方が多いイメージがあるかもしれませんが、男女比はおおよそ5:5です。

男女で仕事の区別はないため、性別に関係なく仕事をすることができます。

●福利厚生や給料について。

基本的に、福利厚生や給与は行政事務などの愛媛県職員に準じます。

勤務によっては各種手当等が支給される場合もあります。

【初任給】 ※R7.4.1適用 警察事務(上級) 20万3,553円⇒**22万6,953円**

警察事務(初級) 17万1,874円⇒**19万5,667円**

十年2回の**期末・勤勉手当(ボーナス)**の支給もあります！



ズバリ、お答えします！